

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	スポーツ科学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	アスレティックリハビリテーションⅡ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60(2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	後期 木・金、1限	教室名	ATルーム
担 当 教 員	海東翼	実務経験と その関連資格	AT、鍼灸師としてスポーツ整形で働きながら、高校ラグビー部やアメフトなどのチームに帯同経験有、現在は大学ATルームに勤務し活動中			
《授業科目における学習内容》						
⑤各疾患へのアスレティックリハビリテーションの考え方と実際を学び、対象者に正しい指導が出来るようになる ⑥競技種目特性に応じた指導を理解し有効な指導が出来る様になる						
《成績評価の方法と基準》						
1:定期試験:70% 2:平常点:10% 3:出席点:20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
AT教本⑦「アスレティックリハビリテーション」						
《授業外における学習方法》						
あらかじめ指定された範囲のテキストに目を通し、予習をする。また授業後に振り返るために各疾患別のアスレティックリハビリテーションを測定評価と結びつけながらまとめる						
《履修に当たっての留意点》						
本格的な人体施設に入っていきます。筋骨格系へのアプローチを中心に授業は展開していきます。すでに学んだ知識を復習するとともに、正確にその場に鍼を打つ、灸をすえる技術を身につけましょう。人の身体に鍼を刺す、灸をすえる本当の意味を考え、真面目に授業に取り組んでください。特殊鍼法(鍼通電・灸頭鍼・皮内鍼・円皮鍼)を用いてできる治療方法について学びます。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	イントロダクション(後期の内容について理解できるようになる)	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる	
		各コマにおける授業予定	前期の復習			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	イントロダクション(後期の内容について理解できるようになる)	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる	
		各コマにおける授業予定	前期の復習			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	体幹について学び、理解出来るようになる	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる	
		各コマにおける授業予定	(基礎)頸椎に生じる障害に対する評価と、問題点の抽出(統合)			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	体幹について学び、理解出来るようになる	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる	
		各コマにおける授業予定	(基礎)頸椎に生じる障害に対する評価と、問題点の抽出(統合)			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	体幹について学び、理解出来るようになる②	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる	
		各コマにおける授業予定	(基礎)腰椎に生じる障害に対する評価と、問題点の抽出(統合)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	体幹について学び、理解出来るようになる②	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	(基礎) 腰椎に生じる障害に対する評価と、問題点の抽出(統合)		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	体幹について学び、理解出来るようになる③	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	(応用) 脊柱に生じる外相・障害に対してのメニューの立案と指導		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	体幹について学び、理解出来るようになる③	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	(応用) 脊柱に生じる外相・障害に対してのメニューの立案と指導		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	上肢について学び理解出来るようになる	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	(基礎) 肩関節に生じる障害に対する評価と、問題点の抽出(統合)		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	上肢について学び理解出来るようになる	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	(基礎) 肩関節に生じる障害に対する評価と、問題点の抽出(統合)		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	上肢について学び理解出来るようになる②	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	(応用) 肩関節疾患に対するメニューの立案と指導		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	上肢について学び理解出来るようになる②	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	(応用) 肩関節疾患に対するメニューの立案と指導		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	上肢について学び理解出来るようになる③	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	(基礎) 肘関節・手関節に生じる障害に対する評価と、問題点の抽出(統合)		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	上肢について学び理解出来るようになる③	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	(基礎) 肘関節・手関節に生じる障害に対する評価と、問題点の抽出(統合)		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	上肢について学び理解出来るようになる④	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	(応用) 肘関節・手関節に生じる外相・障害に対してのメニューの立案と指導		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	スポーツ科学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	アスレティックリハビリテーションⅡ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60(2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期 木・金、1限	教室名	ATルーム
担 当 教 員	海東翼	実務経験と その関連資格	AT、鍼灸師としてスポーツ整形で働きながら、高校ラグビー部やアメフトなどのチームに帯同経験有、現在は大学ATルームに勤務し活動中			
《授業科目における学習内容》						
<p>⑤各疾患へのアスレティックリハビリテーションの考え方と実際を学び、対象者に正しい指導が出来るようになる</p> <p>⑥競技種目特性に応じた指導を理解し有効な指導が出来る様になる</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>1:定期試験:70%</p> <p>2:平常点:10%</p> <p>3:出席点:20%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
AT教本⑦「アスレティックリハビリテーション」						
《授業外における学習方法》						
あらかじめ指定された範囲のテキストに目を通し、予習をする。また授業後に振り返るために各疾患別のアスレティックリハビリテーションを測定評価と結びつけながらまとめる						
《履修に当たっての留意点》						
あらかじめ指定された範囲のテキストに目を通し、予習をする。また授業後に振り返るために各疾患別のアスレティックリハビリテーションを測定評価と結びつけながらまとめる						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	演習形式	授業を通じての到達目標	上肢について学び理解出来るようになる④	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる	
		各コマにおける授業予定	(応用)肘関節・手関節に生じる外相・障害に対してのメニューの立案と指導			
第17回	演習形式	授業を通じての到達目標	競技種目特性について学び理解出来るようになる	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる	
		各コマにおける授業予定	競技種目にもとづいたプログラミングについて学ぶ			
第18回	演習形式	授業を通じての到達目標	競技種目特性について学び理解出来るようになる	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる	
		各コマにおける授業予定	競技種目にもとづいたプログラミングについて学ぶ			
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	競技種目特性について学び理解出来るようになる②	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる	
		各コマにおける授業予定	ノンコンタクトスポーツについて学ぶ			
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	競技種目特性について学び理解出来るようになる②	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる	
		各コマにおける授業予定	ノンコンタクトスポーツについて学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標	競技特性について学び、理解出来るようになる③	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	コリジョンスポーツについて学ぶ		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標	競技特性について学び、理解出来るようになる③	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	コリジョンスポーツについて学ぶ		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標	競技種目特性について学び、理解出来るようになる④	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	コンタクトスポーツについて学ぶ		
第24回	演習形式	授業を通じての到達目標	競技種目特性について学び、理解出来るようになる④	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	コンタクトスポーツについて学ぶ		
第25回	演習形式	授業を通じての到達目標	競技種目特性について学び、理解出来るようになる⑤	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	競技種目特性のまとめ		
第26回	演習形式	授業を通じての到達目標	競技種目特性について学び、理解出来るようになる⑤	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	競技種目特性のまとめ		
第27回	演習形式	授業を通じての到達目標	後期に学んだ事を振り返り、理解出来るようになる	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	後期授業範囲で取り扱った内容に対するまとめ		
第28回	演習形式	授業を通じての到達目標	後期に学んだ事を振り返り、理解出来るようになる	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	後期授業範囲で取り扱った内容に対するまとめ		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標	後期まとめ	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	後期授業範囲で取り扱った内容に対するまとめ		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標	後期まとめ	ATテキスト⑦ 配布プリント	事前に指定範囲のテキストに目を通しておくとともに、習った内容をまとめる
		各コマにおける授業予定	後期授業範囲で取り扱った内容に対するまとめ		